

1 経歴

私は、〇〇校在学中の学生であります。私は、〇〇（専攻等）を学ぶために進学を志し、現在まで〇〇校の学生として勉学に励んでまいりました。

その傍ら〇〇（部活動・ボランティア・サークル等）の校内・校外活動を行い、人格形成及び、人間関係の構築の場として〇〇校を使用しておりました。

（行った活動や取得した実績等について、時期を明示したうえでご記入ください。

例：2019年3月には期末考査にて校内でも上位の成績を修めました。）

現在も、〇〇（将来の希望等、資格取得や進学等）を実現すべく、〇〇の学習・活動に勤しんでおります。

3 日本国における影響及び私が受けた損害について

私は、前述しました通り〇〇校に在学中であり自らの目標を達成すべく勉学等の活動に尽力してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大をうけて政府による臨時休業の要請・学校側の判断により令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日（若しくは現在）までにおける学校における活動に制限がかけられ、〇〇措置（休校・短縮授業・リモート授業等）の実施が行われました。その結果、普段通りの活動を行うことが著しく困難となりました。

また通常と異なる学習環境が導入されたことにより、本来受けることが出来た授業・講義を受けることが出来ず、学力の向上を十分に達成することが出来ませんでした。

さらに、学校を利用することが出来ないことから、新たな友人を作ることや交友関係を深めることも出来ず、〇〇（進路・就職当）についての情報を得ることも困難になったため、不安に陥りました。

現在もコロナ第二波以降の影響及び再度の緊急事態宣言により就職活動や入学試験が予定通りに行われるか不透明であり心身ともに負担のかかる生活が続いております。

（その他、休校等の措置により被った不利益や損害等があればここに具体的に記入してください。）

上記の自粛期間は、進学・就職を控えた特に重要な時期であり、私にとって自己の将来を築き上げる非常に重要な期間でした。係る期間に学校における活動を制限されたことによって著しい影響を受けました。

学問の自由は現代社会の根幹をなす、憲法 23 条により保証された重要な権利であり、私としてもこれからの人生を決定づける極めて重要なものであります。かかる学校における活動を制限されたことで私が受けた精神的損害は計り知れないものであります。